

松本市教育研修センターだより

No.41 令和7年8月31日

夏の学びを力に変えて ～「子どもが主人公の学び」のシンカ～

夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。この夏、各校ではサマーセミナーや校内研修が行われ、先生方も新たな探究やチャレンジに取り組まれたことでしょう。

教育研修センターでは、9月以降も研修を多数ご用意しています。「この研修、ちょっと気になるかも」と思いましたら、追加受付できますので、ぜひ申し込んでください。

教師の学びと子どもの学びは相似形—先生方が輝く姿は、必ず子どもたちの心に響きます。共に学び、共に成長する。子どもが主人公の松本市の教育を、さらなる高みへと「シンカ」させていきましょう。

教師と子どもの絆を深める授業づくり研修

～不易 岩川直樹先生と見つめる教育の根っこ～

平成27年度から続く岩川直樹先生（埼玉大学）による訪問型研修を、今年度は並柳小学校を皮切りに清水中学校・波田中学校・波田小学校・源池小学校の5校で実施します。

並柳小学校では、全校の先生方で道徳の授業を参観し、放課後は車座になって子どもを語る会を行いました。岩川先生からは、子どもと教師の応答関係のなかで主題を問い直すことや、教師にとっては何度も扱った資料でも改めて Re-spect する（もう一度しっかりと見る）教材研究が大切であることを、子どもの姿をもとに教えていただきました。

また、語り合われたことが構造的に板書されたり、研修を通して得られた気づきをホワイトボードに各自が記入して共有したりして、リアルタイムに記録が残る工夫をした運営がなされていました。岩川先生から「これまでの授業研究会の枠を突破しようとしている。当たり前を見つめ直すことで、先生方が深く分かち合って元気になる研修になった。」と価値づけていただきました。

子ども達のためにこれまでの形を突破していく並柳小学校はまさに、子ども達が拓いていくあたたかな社会への変革の拠点であると感じました。

【参加者の感想より】

- 子ども達の姿をもとに行った「子どもを語る会」は、今までの授業研究会とは趣が異なり、子ども達の姿から見えてきた指導観や教材観に関わる先生方の意見がたくさん交わされ、大変勉強になった。先生方一人一人の子どもの見方にも「なるほど」と思われる場面がたくさんあった。
- 今回の研修にあわせて、事前に岩川先生の書かれた資料を読むことで、子どもへ重心を寄せて関わっていく大切さを感じました。また、気になっている子どもの姿やその子への教師の願いと、主眼を共有する指導案の形式もとても良いなあと感じました。
- 子どもに自分がどう関わっているのか、どんな目（まなざし）を向けているのか、寄り添えているのか、これまでの自分を改めて見つめ直す機会となりました。この子ども達と一緒に学びたいことは何だろうか。題材への問い直しは、これからの私の授業づくりの大きな課題となりそうです。

2 学期、追加募集する研修講座一覧

どれも魅力的な講座です！
奮ってご参加ください！

講座番号	講座名	期日	おすすめポイント
C03-2	算数数学授業づくりセミナーⅡ	9/5(金)	松本大学佐藤茂太郎先生と「全国学力・学習状況調査の子ども姿」から算数数学の授業づくりのアイデアを語り合います。今回は主に「4年～6年：面積・変化と関係 低学年：測定」の分野に焦点をあて、子どもがつまづきやすいポイントから授業づくりのヒントを考えます。
C01-3	小学校国語授業づくりゼミⅢ	9/12(金)	今年で4回目を迎える好評の講座の第3弾。今年度も松本大学上月先生とともに、文学教材の教材研究(第1回「一つの花」第2回「おてがみ」)をし、授業デザインを考えてきました。第3回は「海の命」。子どもと一緒に文学を読み解く楽しさを味わいましょう。
C10-2	実践校に学ぶ「探究の学び」Ⅱ (中学校)	9/12(金)	2年間パイオニア校として走ってきた丸ノ内中学校の探究学習「忠恕の時間」の授業を参観。生徒たちに直接インタビューをしたり、研究主任から、これまでの実践にける苦労、校内体制の在り方などについてお話を伺ったりすることを通して、探究的な学びについて考えます。
E09-2	まつもと講師塾 (講師対象研修)Ⅱ	9/19(金)	講師の先生方を対象にした3回シリーズの第2弾。今回は、講師の長野県発達障がい情報支援センター宮内かつら先生のお話から、多様な子どもの理解と対応のあり方について考えます。講師の宮内先生のお話をもとに仲間の先生方と悩みを語り合い、明日の実践にいかしましょう。
C02-3	小学校社会授業づくりゼミⅢ	9/25(木)	講師の松本大学秋田真先生から、子どもたちの学びを深める単元づくりのコツ、教科書を効果的に活用するアイデアなどを、実践例をまじえ交えながらわかりやすく解説いただきます。明日からの社会科の授業づくりに役立つヒントが満載の講座です。
E06-2	ワークショップ型 ミドルリーダー研修Ⅱ	9/25(木)	学校運営の要としての役割が期待されるミドルリーダー研修の第2弾。「先生の幸せ研究所」の澤田真由美代表を講師に迎え、「わたしにもできる！巻き込み型プロジェクト入門」をテーマに、仲間を巻き込みながら、自校のプロジェクトをどのように進めていったらよいか学び合います。
C09	実践校に学ぶ「子どもが創る学校行事」	9/26(金)	令和6年度の音楽会と運動会を、子どもたちと一緒に企画・運営するという、画期的な取り組みを行った旭町小学校。子どもたちが音楽会や運動会を企画している様子を見たり、担当した先生とディスカッションしたりしながら、「子どもと共に創る」とはどういうことか考えます。
C24-2	松本の城と町②	10/17(金)	松本の城と町シリーズの第2弾。今回は文化財課の上條直利先生と県の史跡に指定されている山家城跡を訪れ、戦国時代の歴史や武田氏との関わりについて学びます。
E06-3	ワークショップ型 ミドルリーダー研修Ⅲ	10/23(木)	学校運営の要としての役割が期待されるミドルリーダー研修の第3弾。今回は、信州大学の荒井英治郎先生を講師に迎え、「機能するチームをつくる」をテーマに、ミドルリーダーを中心とした学校づくりマネジメントの基礎を学びます。
E02	教育哲学研修 西郷孝彦先生と 深める「『子どもが主人公』の 哲学(オンライン)」	10/28(火)	「校則もない、制服もない」を公立の中学校で実現し「日本一自由な公立中学校をつくった」と言われている元中学校長、西郷孝彦先生のお話から「子どもが主人公」とはどういうことなのか、その意味を考えます。自分の子ども観・授業・指導観を問い直す絶好の機会です。
E07	ファシリテーション力向上研修	11/7(金)	3年連続で実施されているファシリテーターとしてのマインドとスキルを学ぶ大好評の研修です。今年は、講師のちょんせいこ先生が、梓川小学校を訪問しファシリテーションを活用した授業を公開。その後、参加者の皆さんとワークショップを実施します。
C24-3	松本の城と町③	11/7(金)	松本の城と町シリーズの第3弾。今回は文化財課の上條昌明先生と松本の城下町を散策し、当時の暮らしや文化、街が発展してきた経緯について学びます。
C25-2	ICT活用 一人一台端末を活用した授業づくり	11/14(金)	文部科学省初等中等教育局GIGA StuDx推進チームの方から、タブレット端末を授業に活かせ、深く学ぶ児童生徒の姿につながった全国の実践を紹介いただきます。また、クラウドを活用した授業づくりのメリットやポイントなどを体験的に学ぶことができます。
C10-2	実践校に学ぶ「探究の学び」Ⅱ (中学校)	11/14(金)	丸ノ内中学校の探究学習の実践に学ぶ講座の最終回。今回は、「忠恕の時間」で探究活動を行ってきた生徒たちが、その成果を発表する「丸中Jr.学会」に参加します。生徒たちのアウトプットを通して、探究的な学びの価値について考えましょう。
E06-4	ワークショップ型 ミドルリーダー研修Ⅳ	11/17(月)	学校運営の要としての役割が期待されるミドルリーダー研修の第4弾。今回は、松本大学の樋口一宗先生を講師に迎え、インクルーシブな教育環境の実現のために、ミドルリーダーとしてどのようにかかわるかを学びます。
E09-3	まつもと講師塾 (講師対象研修)Ⅲ	11/21(金)	6月の第1回に引き続き、「授業づくりの基礎基本2」小中別、教科別に分かれて、松本市教委指導主事や松本市教科等研究推進教員の先生方が、参加者の授業づくりの困りごとやポイントについて相談のり、授業を一緒に考えていきます。
C10-1	実践校に学ぶ「探究の学び」Ⅰ (小学校)	12/2(火)	リーディングスクールとして、風越学園の支援を受けながら、学校を挙げて2年間「探究の学び」に取り組んできた中山小学校。実際の授業を参観し「探究」の具体像を子どもの姿から学ぶとともに、取組の歩み・手応えや課題等に触れ、「探究の学び」を進める具体を学び合います。
C03-3	算数数学授業づくりセミナーⅢ	12/5(金)	第3回は、講師の松本大学の佐藤茂太郎先生が、芝沢小学校で、6年生の「割合」の授業を行います。授業参観後、「子どもが主人公となる算数の授業づくり」について、子どもの姿を通して参加者で考え合います。